

子供たちの良き理解者に



児童養護施設 大洋学園
保育士 菊谷 一平

保育士になろうと思ったのは、高校3年の秋だったと思います。子供が好きで近所の子供たちと遊ぶことも多くありました。その時に、保育園で働いてみたらと言われたのが保育士を目指すきっかけとなりました。

専門学校に入り、保育と介護の勉強をしました。勉強や高齢者、障がい者、保育施設での実習を重ねるなかで、児童養護施設で働きたいと思うようになりました。その時、実習でお世話になったのが大洋学園でした。

大洋会に入り丸8年が経とうとしています。異動があるため大洋学園の勤務は2回目となります。震災後に大洋学園に異動して1年8か月が経ちました。2回目の学園勤務ということもあり、職員も子供も知っている顔が多く、慣れるのにも時間も掛からなかったように思います。以前は大舎でしたが今はユニット化となり、男女8人の子供を担当しています。

小学生から高校生の8人の子供たちは、いろいろな表情を見せてくれます。笑ったり、怒ったり、悩んだりと一つひとつの出来事が子供たちにとって成長のだと思います。

そんな子供たちのために「自分ができることは何か、何を伝えるべきか」ということを考えながら、日々格闘しています。

学年や経験してきたことも違う子供たちなので、伝え方も一人ひとりに合わせて言い方を考える必要があります。先のことを見据え、どうやってほしいかということも考えながら伝えなければいけません。

当たり前のようですが、改めて実感させられたことであり、常に頭に入れておかなければいけないとも思いました。

子供たちとの関わりの中で学ぶことも多く、自分自身も成長できていることが分かります。子供たちと共に成長できるように頑張っていきたいと思えます。また、子供たちの良き理解者になれるようになりたいと思います。

パートナー



はじめまして、エリックです

ふれあいランド岩手の総合受付スタッフ阿部容子さんと生活を共にする新しい介助犬エリック（雄、1歳）が、3月4日付けでふれあいランド岩手に採用になりました。今後は阿部さんと共に勤務していくことになります。皆さん、よろしく願いいたします。



貸付制度のご案内

● 介護福祉士等修学資金

岩手県における介護福祉士・社会福祉士の養成及び確保を図ることを目的に、岩手県内の介護福祉士または社会福祉士

指定養成施設等に在学し、資格取得を目指す学生に修学資金の貸付を行います。なお、資格取得後は岩手県内で介護等の業務に5年以上従事すれば返還が免除されます。

<対象者>

● 岩手県内に住民票を有し、卒業後に岩手県内で介護福祉士等としてその業務に従事しようとする方

● 岩手県外に住民票を有する方で、岩手県内の養成施設等に在学し、卒業後、岩手県内で介護福祉士等としてその業務に従事しようとする方

詳しい対象範囲については、お問い合わせください。

<貸付額>

在学中の学費として次の通り貸付（無利子）

- 月額5万円以内（年間2回に分け交付）
- 入学準備金20万円以内（初回のみ）
- 就職準備金20万円以内（最終回のみ）

<返還について>

5年以上、岩手県内で介護福祉士または社会福祉士として介護等の業務に従事すれば返還免除されます。ただし、養成施設等を途中で休学・退学したり、所定の期間前に介護等の業務を辞めた場合（従事しなかった場合も含む）貸付を受けた期間の2.5倍に相当する期間内に貸付金を返還しなければなりません。

<問い合わせ先>

● 岩手県社会福祉協議会・福祉人材センター
電話 019-637-4522

皆さまのご支援ありがとうございます

東日本大震災での被災地支援のため、たくさんのご支援をいただいております。ここに掲載したものはその中の一部です。多くの企業・団体・個人の方からのご支援を直接被災地にいただいております。深く感謝申し上げます。（順不同・敬称略）

● 株式会社ブリッジ 代表取締役
長根 実

55,137円・55,269円・57,103円・54,666円

● 江戸川大学総合福祉専門学校駒木奈
ふれあいフェスタ東北復興支援
学生有志 2,530円（障がい協へ）

● 健康アメニティのし 100,000円

● 協豊会 会長 信元 久隆
1,399,540円

● 社会福祉法人全国社会福祉協議会
207,900円（発電機）

● 天理教本新坂分教会 代表役員
山下 正直 100,000円

● 社会福祉法人江東区社会福祉協議会
江東区障害者福祉センター
所長 野口 平八 5,850円

◆ 発行人／桑島博
平成25年／3月号

◆ 編集人／古内保之
〒020-0831 岩手県盛岡市二本柳8-1-3

◆ 発行所／岩手県社会福祉協議会・岩手県共同募金会
電話 019-637-4466

◆ 定価2000円（送料別）
FAX 019-637-4255

※この広報誌は発行経費の一部として、赤い羽根共同募金の配分及び岩手県福祉基金の助成を受けています。